



麻生多摩美の森だより



麻生区市民健康の森 —麻生鳥のさえずり公園—

麻生多摩美の森の会広報紙第 59 号 2020 年 7 月 31 日発行

発行人：会長 田中 肇 編集者：伊勢谷 能宣

会長就任にあたって 会長 田中 肇

麻生多摩美の森の会の 4 代目の会長に就任致しました田中 肇と申します。どうぞよろしくお願い致します。

通常ですと、麻生区役所の会議室をお借りし、総会を開催し、委任状と併せて参加会員による議決により 5 月には就任のはずでしたが、皆さんご存じの通りコロナ禍による影響を多分に受け、森の会発足初めての総会無しでのハガキによる議決を実施。ご承認を頂き、就任が約 1 ヶ月程遅れてしまいました。

それ以上に、気にとめておりましたのが、非常事態宣言を受け、会員の安全を第一に考え、4、5 月の 2 ヶ月間は「作業中止」とし、必要最低限の事を幹事のみに行っていました。必要最低限の事を幹事のみに行っていました。実質森の会の活動はこれまで経験したことの無い長期の「休止状態」となりました。草木の生長は待つてくれず、近隣住民の方の生活道路でもある森の中がだんだんと荒れていく様子をじっと見ているしかありませんでした。ようやく、6 月に入り世間の活動も動き始めた事に足並みを揃え、森の会の活動も 6 月

6 日よりスモールスタートし、少人数から雑草の刈り込みを中心に実施することができ、これまでの森に少しだけ近づけることができ正直ホッとしております。

私、53 歳になります。森の会入会 3 年目にして会長職に就くことは、森の会の活動が発足から 20 年を迎えようとする歴史の中では、これまで経験したことの無い危機的状態の中で未来を託されたと真摯に受け留めております。会員の高齢化が進み、新規会員も増えない中で、若いメンバーの風を吹かせて欲しいと日々発破をかけられています。とは言っても、人数が限られている中で、無理をさせることもできず、身の丈に合った活動をきっちり確実に進めていく。良かった点は継続し、課題は改善していく良い機会と捉えて、若い 2 名の幹事と共に運営を進めていきます。嬉しいことに女性の会員が 3 名増えました。森の認知度もコロナの影響かは不明ですが上がったと思います。森に関する問い合わせも増えています。悩み事があった時に森に来て答えが出せるような心地良い自然空間を目指して、活動していきます。

カントウタンポポの生息地の環境の研究について

植村 ゆり香



多摩美の森のカントウタンポポ

高校の課題でカントウタンポポをテーマに調べており、タンポポに興味を持ったきっかけは、タンポポの茎から出る白い液体(ラテックス)です。ラテックスに興味を持ち、タンポポについて調べていくと、タンポポが環境指標種であることを知りました。また、普段タンポポと一括りにしていたものにも複数種あり、カントウタンポポが特に都会で数を減らしている、という記事を読みました。カントウタンポポとセイヨウタンポポの生息地の環境違いを調べたら、どうして都会で数を減らしているのかが分かるのではないかと考えたのが今回の研究の直接のきっかけです。麻生区民の森にカントウタンポポの自生地があると聞き、森の会の皆様にお話を伺い、今回の寄稿のお話をいただきました。

生息地の環境の違いを調べる際には土壤が一番大きな要因ではないかと思い、まずは土壤の pH を調べました。土壤の pH がカントウタンポポの生息に大きく影響することを調べるために現在計画している研究は次の通りです。

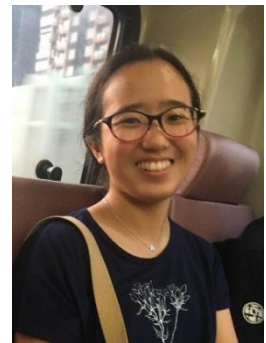
・タンポポを総苞の反り返りや角状突起の有無で 4 つのカテゴリーに分け (カントウ

タンポポ、雑種のカントウタンポポ寄り、雑種のセイヨウタンポポ寄り、セイヨウタンポポ)、それぞれの土壤の pH と窒素レベルを調べる。

・カントウタンポポが pH5.5、セイヨウタンポポは 7 あたりに多く分布していることが分かったので、カントウタンポポとセイヨウタンポポの根と種を pH の違う土壤 (5.5、6.5、7.5) で育て、発芽と成長の違いを調べる。森の会でカントウタンポポのお話を聞いてみると、カントウタンポポの生息地の環境は土壤の pH だけではなく、土の硬さや風など様々な原因が関係しているように思いました。カントウタンポポを保護しようとして人が入らないようにすると、土が柔らかくなり、他の植物が伸びるのでタンポポは負けてしまうのではないかなとも思っています。

タンポポに興味を持ったきっかけはラテックスで単なる好奇心ですが、森の会の皆様のお話を聞くうちにカントウタンポポの保全活動に少しでも貢献できたらいいなと思うようになりました。研究で育てたタンポポは、森に戻しに行きたいと思います。

また、環境保全活動といっても、本来の自然の姿とは一体何なのか、人間がこうあって欲しいという状況を保つのが保全活動なのか、タンポポをきっかけに色々なことを考えました。



植村ゆり香 さん

絶滅危惧種タマノカンアオイ

井上 正樹

令和元年8月に森の会は橋本洋子さんより、タマノカンアオイの提供を受けた。昨年5月に植物観察会に参加した際、自然観察指導員の高橋 英さんより「草花に詳しいですね」とお声かけされたのがきっかけだった。

橋本さんは父親が九州小倉で尺八の師匠、母親はお琴の師匠と芸術一家に生まれた。

「小学生時代に植物部に入り、近所の大きな屋敷の庭木や草花に興味を持ったのが始まりでした」と懐かしそうに語る。

昭和51年9月、北千住から新百合ヶ丘駅北側の金程町に引っ越してきた。当時の駅北側は緑豊かな森に覆われており、急な細い坂道を上がった先にある、里山の中にあるような自宅だった。当時タマノカンアオイを近くから保護し、現在の千代ヶ丘に引っ越した際に植え替えたのだそうだ。

そして橋本さんから受けついでタマノカンアオイは今も多摩美の森で元気に根付いている。立派に育ったタマノカンアオイの写真を見て、喜んで下さっていた。

(7月11日 橋本さん宅にて取材)



『タマノカンアオイ』とは??

特徴

葉質厚く表面は光沢があるが鈍く、深緑色になり、短毛が散生する。葉脈は網目状になり、脈に沿って少しへこむ。花は4~5月に咲くが、葉の根元に落葉に埋もれるように咲くので気が付かれない事が多い。花には花弁がなく、微かな匂いでキノコバエの仲間を寄せて受粉していると考えられている。

名前の由来

和名タマノカンアオイは、「多摩の寒葵」の意味で、産地の多摩丘陵に基づく。

発見者

このタマノカンアオイは、高名な植物学者である牧野富太郎先生が1931年に川崎市の稲田登戸で発見し、新種に記録された。

種の保全状況評価

絶滅危惧Ⅱ類(VU) (環境省レッドリスト)

<カンアオイ(別名カントウカンアオイ)>
川崎に自生するカンアオイ属はタマノカンアオイの他にカントウカンアオイがある。表面は光沢のない濃緑色、雲紋や亀甲紋、時に無地のものもあり、疎らに毛がある。麻生区の一部に点々と自生しているが、タマノカンアオイと混在することはなく、分布域を分けているよう。カントウカンアオイは10~11月に咲くので、川崎市内であれば開花時期で容易に判別できる。

《参考：Wikipedia/かわきた第242号(2013年1月発行)》

活動を支える工具

伊勢谷 能宣

活動に参加して早 1 年、まだまだ至らぬ事ばかりですが、私たちの活動は関係各所のおかげで成り立っているのだと気が付かされます。ご支援のおかげで先日導入されたのは、マキタ製の充電式草刈り機でした。

私が勤める業界ではマキタ信者が多く、海外 MAKITA から個人輸入販売をしている知人もいます。(その魅力を語るには到底このページでは足りません…) とにかく、とある活動日にマキタブルーと呼ばれる鮮やかな色彩が目にとまり、諸先輩を押しつけて草刈り機デビュー。従来の草刈り機と比べると重量も騒音も減り、振動も少ないため、身体への負担が少ないらしいです。ご指導を頂きつつ、大好きなマキタに触れながらの楽しい草刈り機デビューとなりました。



今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

2020 (令和 2 年) コロナ禍の収束を期待するのみです。今後の活動は様子を見ながら無理せず行います。主力が世代交代をして自由な発想で引きついで頂くことができました、そのバックアップを全力でします。会員の皆様も会員以外の皆様も応援よろしくお願いします。

里山ボランティアも募集中です、ぜひお子さんと気楽に森に出かけられるといいですね。

【今後の活動予定】

- 8/01(土) 枯れ樹木の切断、草取り、幹事会
- 8/16(日) ゴミの収集、蔓の除去、草刈、藤棚の椅子修理、清掃
- 9/05(土) 樹木の手入、草刈、幹事会
北斜面一帯の常緑樹の間伐
- 9/20(日) 周辺の草刈、蔓の除去
- 10/03(土) 幹事会、草刈、里芋の収穫
- 10/17(土) プレーパーク、のらぼう播種
- 10/18(日) 草刈、草取り、清掃
- 11/07(土) 幹事会、草刈、樹木の間伐、
- 11/15(日) 第 19 回植樹・収穫祭 (未定)
- 12/06(日) 財・公園緑地協会「交流事業」

※作業時間は 9～11 時です。

(10 月～5 月は 10 時～12 時)

<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>



←当会ホームページで本紙のバックナンバーもご覧ください。当会 Facebook ページはこちらです。→



<https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/>

会員募集中 (年会費 1,000 円) 見学大歓迎!

里山の楽しさを親子で味わって下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

お問い合わせ : 田中 肇 070-4468-7195

hajimeta@mth.biglobe.ne.jp